

**第8期匝瑳市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)における
「高齢者福祉施策の推進」取組状況調査報告書(令和4年度分)**

**令和5年8月
匝瑳市高齢者支援課**

I 実施概要

1 調査目的

本市では、令和3年度から令和5年度までを計画期間とした第8期匝瑳市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(以下、「第8期計画」という。)において、4節・84項目から成る高齢者福祉施策を定めています。

同計画に掲げた施策目標の確実な達成に向けては、当該施策の進捗状況を定期的に確認・評価する必要があります。そのため、進行状況を定期的に管理することとしました。

今回の結果は、今後の施策実施及び第9期計画(令和6年度～令和8年度)の策定に反映させていきます。

2 調査対象

第8期計画における「第4章 高齢者福祉施策の推進」(P49～P70)の中で掲げた84施策の取組状況及び進捗状況を対象としました。

3 調査時点

令和5年3月31日現在

4 調査方法

各施策を担当する関係各課への照会により行いました。

5 進捗度の評価基準

本計画の記載内容を基に(担当課で独自に設定等した計画値・指標等については、各施策の取組状況の表において、斜字で記載しています)、各施策の業務を担当する関係各課において、現状・実績値等を総合的に判断して進捗度を5段階で評価しました。

進捗度の評価基準は次のとおりです。

- 4…十分な取組を実施でき、目標を達成した。
- 3…取組を実施し、目標達成に向けて順調に進捗している。
- 2…取組を実施したが、一部課題がある。
- 1…ほとんど取組ができなかった。
- 0…未実施。

Ⅱ 高齢者福祉施策の進捗状況

第8期計画においては、4節・84項目から成る高齢者福祉施策を定めています。

計画期間の2年目にあたる令和4年度の進捗状況は、次のとおりでした。

【高齢者福祉施策（計84項目）の進捗状況】

4	十分な取組を実施でき、目標を達成した。	19項目（23%）
3	取組を実施し、目標達成に向けて順調に進捗している。	41項目（49%）
2	取組を実施したが、一部課題がある。	15項目（18%）
1	ほとんど取組ができなかった。	6項目（7%）
0	未実施。	3項目（4%）

※項目数に対する5段階評価の割合は、小数点第1位を四捨五入しているため、割合の合計が100%と異なる場合があります。

目標指標計84項目のうち、23%にあたる19項目については、「目標を達成」しており、また、49%にあたる41項目については、「目標達成に向けて順調に進捗している」という結果となりました。「目標を達成」及び「順調に進捗」している項目の合計は60項目で、令和3年度より6項目増加しています。

これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・縮小されていた事業が、令和4年度においては、当初の計画どおりに実施できたことが主な要因となっています。

Ⅲ 進捗状況の詳細

「第4章 高齢者福祉施策の推進」（P47～P70）の中で掲げた4節・84施策の進捗状況は次のとおりでした。

第1節 自立した生活を支える地域づくり (P49～P51)

(全体)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
15	6	40%	8	53%	1	7%	0	0%	0	0%

(内訳)

1 在宅医療と介護連携の推進 (P49. P50)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
8	2	25%	6	75%	0	0%	0	0%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
1	地域の医療・介護サービス資源の把握	49	高齢者支援課	—	・地域の医療機関、薬局、介護サービス事業所等の一覧と所在地を掲載した『医療と介護の連携マップ』を作成した。	3
2	在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	49	高齢者支援課	—	・医療と介護の連携会議において住民向けにACP等の周知が必要との課題が抽出され、その対応策として広報や市民講座等の実施について検討した。	3
3	切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	49	高齢者支援課	—	・医療、介護の専門職と共通する課題等について会議を開催し、意見交換等をとおして、顔の見える関係づくりを進めた。	3
4	医療・介護関係者の情報共有の支援	49	高齢者支援課	—	・『状態変化時連携シート』を作成し、関係者で円滑な情報共有が図られるようにした。市ホームページに連携シートのダウンロードができるようにした。	3
5	在宅医療・介護連携に関する相談支援	49	高齢者支援課	—	・地域包括支援センターが相談窓口となり円滑な連携が図られるよう支援した。	3
6	医療・介護関係者の研修	50	高齢者支援課	—	・在宅での看取りやACPをテーマにした研修会を開催した。 在宅医療・介護を考える会(市民講座)の開催 住民、医療・介護関係者等 70名参加	4
7	地域住民への普及啓発	50	高齢者支援課	—	①在宅での看取りやACPをテーマにした研修会を開催した。 ・在宅医療・介護を考える会(市民講座)の開催 住民、医療・介護関係者等 70名参加 ②ACPについて広報そうさに掲載して周知したほか、パンフレットを購入し配布した。	4
8	在宅医療・介護連携に関する関係市町の連携	50	高齢者支援課	—	・同医療圏の病院及び消防署と「救急医療ネットワーク会議」を開催し、課題の共有等を行った。	3

2 関係機関との連携強化 (P50)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
3	1	33%	1	33%	1	33%	0	0%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
9	社会福祉協議会、ボランティア等との協働	50	福祉課・高齢者支援課	—	・ボランティアキャンペーン匠瑛2022で、啓発グッズの配布を行った。	2
10	地域ケア会議の開催	50	高齢者支援課	—	①個別地域ケア会議 24回開催 ・処遇困難ケースの地域ケア会議 18回 ・自立支援型の地域ケア会議を 6回(ケース) ②地域ケア推進会議 1回開催 ・認知症支援における多職種連携会議 1回	3
11	包括的・継続的ケアマネジメント支援	50	高齢者支援課	—	・介護支援専門員同士のネットワークづくりのための支援をおこなった。 ひとり体制ケアマネジャー相談会 2回 主任ケアマネジャー連絡会 2回 ケアマネジャー向け研修会の開催等 6回	4

3 生活支援体制整備の推進 (P51)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
4	3	75%	1	25%	0	0%	0	0%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
12	生活支援コーディネーターの配置	51	高齢者支援課	生活支援コーディネーター2名配置	・匠瑛市社会福祉協議会への委託により2名配置。 配置人数(人) 2人	4
13	生活支援体制整備のための協議体の設置	51	高齢者支援課	生活支援体制整備のための協議体5地区に設置	・協議体設置に向けた検討を行った。 設置地区(地区) 9地区	4
14	移動支援の充実	51	環境生活課・高齢者支援課	—	・令和5年4月1日から市内循環バスの再編及びデマンド型交通の運行を開始するため、バス及びタクシー事業者と調整を行った。 ・下肢の障害により公共交通機関を利用することが困難な高齢者に対し、医療機関受診のための送迎を行う外出支援サービスを提供した。	4
15	買い物支援の推進	51	高齢者支援課	—	・株式会社カスミとの協定に基づき、令和3年11月15日から同社による移動スーパーが開始された。 販売場所 43カ所(1カ所のみ週2回巡回、他は1回)	3

第2節 介護予防の推進と高齢者の生きがづくり (P52～P58)

(全体)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
25	4	16%	12	48%	6	24%	2	8%	1	4%

(内訳)

1 介護予防・生活支援サービス事業の充実 (P52. P53)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
3	0	0%	0	0%	2	67%	0	0%	1	33%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
16	訪問型サービス	52	高齢者支援課	1月あたり利用人数100人	・参入する業者の目処が立っておらず、多様な主体によるサービスの導入に至っていない。 令和4年度1月あたり利用人数84人	2
17	通所型サービス	52	高齢者支援課	1月あたり利用人数188人	・参入する業者の目処が立っておらず、多様な主体によるサービスの導入に至っていない。 令和4年度1月あたり利用人数176人	2
18	その他の生活支援サービス	53	高齢者支援課	—	・参入する業者の目処が立っていない。	0

2 適切な介護予防サービス計画及び介護予防ケアマネジメント (P53)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
2	1	50%	1	50%	0	0%	0	0%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
19	介護予防サービス計画	53	高齢者支援課	給付管理件数1,780件	・令和4年度実績 2,227件 (令和4年4月～令和5年3月利用)	4
20	介護予防ケアマネジメント	53	高齢者支援課	給付管理件数1,680件	・地域包括支援センターにおいて、適切なアセスメントを実施しケアプランを作成した。 令和4年度 1,534件	3

3 一般介護予防事業の充実(P54. P55)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
6	0	0%	5	83%	0	0%	1	17%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ 番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
21	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	54	市民課・健康管理課・高齢者支援課	—	・令和5年度実施に向け庁内関係課にて計画調整を行った。	1
22	介護予防把握	54	高齢者支援課	—	・民生委員の訪問活動や市で実施する高齢者の実態把握訪問等において、虚弱な高齢者等の相談に対し、介護予防活動に繋がるよう支援した。	3
23	介護予防普及啓発	54	高齢者支援課	令和4年度計画値 500人	・フレイル予防教室の開催 2回 延112人参加 ・出前介護予防講座 6回 170人参加	3
24	地域介護予防活動支援	54	高齢者支援課	令和4年度計画値 880人	・いきいき百歳体操 参加者数 48団体755人(令和4年度末)	3
25	一般介護予防事業評価	54	高齢者支援課	—	・リハビリテーション専門職と介護予防事業の展開等にかかる意見交換会を実施した。(1回)	3
26	地域リハビリテーション活動支援	55	高齢者支援課	—	・地域のリハビリテーション専門職にいきいき百歳体操団体の指導に協力してもらった。(6回)	3

4 高齢者への生活支援の充実(P55. P56)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
6	1	17%	2	33%	3	50%	0	0%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
27	地域包括支援センターの機能強化	55	高齢者支援課	市内に地域包括支援センターを2か所設置	・地域包括支援センターを2か所設置(直営及び委託)。 住民や関係機関に対して周知や広報活動を行い、住民にとって身近で頼れる相談窓口となるよう努めた。	3
28	総合相談支援	55	高齢者支援課	—	・法人に委託することにより、在宅介護支援センターと地域包括支援センターとが連携して相談支援を行った。	4
29	外出支援サービス	55	高齢者支援課	利用券交付人数222人 延べ利用回数2,950回	・下肢の障害により公共交通機関の利用が困難な高齢者の医療機関受診及び入退院に際し、福祉車両(リフト付き車両)での送迎を行った。 令和4年度利用券交付人数182人、延べ利用回数2,607回	3
30	訪問理容サービス	56	高齢者支援課	実利用者数25人	・理容所に出かけることが困難な寝たきり状態等の高齢者の在宅での利用サービスに対し、出張費を助成した。 令和4年度実利用者数16人	2
31	はり・きゅう・マッサージ等施術の利用助成	56	高齢者支援課	実助成人数95人 延べ助成回数620回	・70歳以上の高齢者に対し、はり・きゅう・マッサージ等の施術を受ける際に使用可能な利用券を交付し、施術に要する費用の一部を助成した。 令和4年度実助成人数63人、延べ助成回数478回	2
32	ショートステイ(介護保険外)	56	高齢者支援課	延べ利用人数14人 延べ利用日数280日	・一時的に在宅生活が困難となった高齢者に対し、養護老人ホームにおける短期入所を実施し、体調管理や生活支援を行った。 令和4年度延べ利用人数5人、延べ利用日数160日	2

5 介護家族に対する支援の充実(P57)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
3	0	0%	2	67%	0	0%	1	33%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
33	家族介護教室の開催	57	高齢者支援課	—	・令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から未実施。	1
34	紙おむつの給付	57	高齢者支援課	—	・要介護認定を受けている在宅高齢者に対し、紙おむつを現物支給した。 令和4年度利用人数460人	3
35	家族介護慰労金の支給	57	高齢者支援課	—	・介護保険サービスを利用せずに在宅で要介護者を介護している家族に対し、家族介護慰労金として10万円を支給した。 令和4年度支給人数1人	3

6 社会参加の促進 (P57. P58)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
2	1	50%	0	0%	1	50%	0	0%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
36	シニアクラブ活動の活性化支援	57	高齢者支援課	クラブ数106クラブ 会員数4,530人	・補助金を交付し、シニアクラブ活動の活性化を支援した。新規加入者の減少等により、クラブ数及び会員数は減少している。 88クラブ、3,440人	2
37	シルバー人材センターの運営支援	58	産業振興課	—	・シルバー人材センター運営補助金を交付し、運営の支援を行った。	4

7 生きがいつくりの推進 (P58)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
3	1	33%	2	67%	0	0%	0	0%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
38	興味や意欲に応じた学習の場の充実	58	生涯学習課	(公民館) 講座 実施回数: 84回/ 参加人数: 延900人	・(公民館) 寿大学13講座開催 83回/延885人 ・(生涯学習室) R4年度は感染症防止のため、高齢者を対象とした講座「寿大学」が2回中止となったが、7回開催(延215人)	3
39	高齢者の知識や能力を発揮する場の充実	58	生涯学習課	—	・(公民館) 1月に新春発表会、2月には公民館まつりを2日間開催し、多くの市民に活動等の内容を周知することができた。 ・(生涯学習室) R4年度は、寿大学において発表の場を設け、演芸を発表することができた。	4
40	集いの場づくりの推進	58	高齢者支援課	—	・住民主体の通いの場として、介護予防を目的としたいきいき百歳体操の取組みについて推進した。	3

第3節 高齢者を見守るまちづくり (P59～P64)

(全体)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
25	5	20%	12	48%	6	24%	2	8%	0	0%

(内訳)

1 高齢者虐待の防止等高齢者の権利擁護の推進 (P59)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
4	1	25%	2	50%	0	0%	1	25%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
41	高齢者虐待防止に関する意識啓発	59	高齢者支援課	—	・市ホームページ及びパンフレット等により啓発を行った	3
42	虐待対応体制の整備	59	高齢者支援課	—	・法律及びマニュアルに基づき対応する体制を整備し、適切・迅速な支援体制づくりに努めた。	3
43	高齢者虐待防止ネットワークづくり	59	高齢者支援課	—	・近隣自治体の現状を把握し、ネットワークづくりの検討を進めた。	1
44	消費者被害の発生予防と支援体制の整備	59	高齢者支援課 ・産業振興課	—	・高齢者向けの啓発パンフレットを配布し、消費者被害の防止を図った。また、高齢者の消費者被害の相談等があった場合は、市の消費生活センターやケアマネジャーと連携して対応し、消費者被害の防止や解決に努めた。	4

2 認知症施策の推進 (P60, P61)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
6	1	17%	4	67%	1	17%	0	0%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
45	正しい知識の普及啓発・認知症予防	60	高齢者支援課	—	①認知症サポーター養成講座 20回 438人に実施 ②認知症理解促進月間の9月に広報そうさで認知症支援の普及啓発について特集を掲載 ③同9月に図書館において認知症書籍特設コーナーを設置	3
46	認知症の状態に応じた適切なサービスの提供	60	高齢者支援課	—	・認知症地域支援推進員や認知症コーディネーターと連絡会を開催した。(4回) ・認知症支援に係る地域ケア推進会議を開催し、日頃認知症支援に携わる専門職向けに、認知症本人の気持ちを尊重した支援について会議でグループワーク等を行った。(1回)	3
47	認知症初期集中支援チーム	60	高齢者支援課	—	・認知症初期集中支援チーム員会議 1回開催 ・認知症初期集中支援チーム検討委員会 1回開催	3
48	認知症高齢者SOSネットワーク事業	60	高齢者支援課	—	・所在不明になった際に早期発見・早期対応が出来るよう「匠瑳市認知症高齢者あんしん見守りシール」を導入した。 SOSネットワーク登録者数 27件 あんしん見守りシール配布者数 13件	2
49	認知症の人及び家族への支援の推進	60	高齢者支援課	—	・認知症カフェは新型コロナウイルス感染症の影響で年間を通して中止となった。 認知症の人を介護する方のための家族相談会を毎月開催 12回 延54人参加	3
50	チームオレンジの開設	61	高齢者支援課	—	①チームオレンジの開設に向けて、認知症サポーターの中で認知症支援に意欲的な方たちを対象に「認知症サポーターステップアップ講座を開催した。(1回) ②農作業を通じて認知症本人の社会参加の機会をつくり、またその家族等の相談支援や交流等を目的とした「オレンジファーム」支援事業を開始した。	4

3 成年後見制度の周知と利用促進 (P61. P62)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
5	0	0%	2	40%	2	40%	1	20%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
51	成年後見制度の周知	61	高齢者支援課 ・福祉課	—	・市役所においてポスターの掲示やパンフレットの配布を行った。	2
52	相談窓口の充実	61	高齢者支援課 ・福祉課	—	・成年後見制度の活用が必要と考えられる方、または高齢者を支援している専門職等からの相談を受けて、関係機関と連携しながら権利擁護の立場から相談支援を行った。(相談件数 33件) 【令和5年度には35件/年 予定】	3
53	市長申立て	61	高齢者支援課 ・福祉課	—	・成年後見制度の利用が必要な状態であるが、身寄りがない等の理由から親族等による申し立てが期待できない者について、市長申立てによる後見等開始の審判請求を行った。 令和4年度申立件数2件、報酬助成件数2件	3
54	市民後見人の養成	62	高齢者支援課 ・福祉課	—	・法人が開催する市民後見推進事業連絡会に参加し、情報共有等を行い、銚子市、旭市及び一般社団法人東総権利擁護ネットワークとの連携を深めた。	2
55	地域連携ネットワーク及び中核機関の構築	62	高齢者支援課 ・福祉課	—	・近隣自治体の現状を把握し、体制づくりの検討を進めた。	1

4 一人暮らし高齢者を見守る仕組みづくり (P62. P63)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
4	1	25%	1	25%	2	50%	0	0%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
56	高齢者等あんしん見守りネットワーク事業	62	高齢者支援課	協力事業者数19社	・令和4年度に新たに1事業者と協定を結んだ。 令和4年度末21社	4
57	緊急通報装置貸与事業	62	高齢者支援課	貸与台数121台	・一人暮らし高齢者等に対し、緊急通報装置を貸与した。協力員の確保が困難なこと等により、貸与台数は計画値を下回った。 令和4年度末79台	2
58	配食サービス	63	高齢者支援課	利用者数45人 延べ配食数1,820食	・食事の調理が困難な一人暮らし等の高齢者に対して、バランスのとれた食事を配達し、併せて安否確認を行った。新規申請者数の減少等により利用者数及び配食数は計画値を下回った。 令和4年度利用者数19人、延べ配食数1,106食	2
59	救急医療情報キット配布事業	63	高齢者支援課	—	・一人暮らし高齢者等に対し、救急時に必要な、かかりつけ医療機関等の情報を保管することができる救急医療情報キットを配布した。 令和4年度配布人数33人	3

5 安心・安全対策の推進 (P63, P64)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
5	2	40%	2	40%	1	20%	0	0%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
60	防災知識の普及及び情報提供	63	総務課・ 高齢者支援課	—	・新たに運用の始まった北海道・三陸沖後発地震注意情報について、広報そうさ及び市ホームページを通じて周知し、防災意識の高揚を図った。 ・防災行政無線を使用して、火災等の発生時に迅速に情報提供を行った。	3
61	防犯知識の普及	63	環境生活課	—	・年金支給日に市内金融機関において、「電話de詐欺」等の防犯対策の啓発活動を実施した。この他、カインズホームや吉田地区において、「電話de詐欺」等の防犯対策の啓発活動を実施した。 ・警察署や関係機関(市防犯協会など)と緊密な連携を図り、広報啓発及び自主防犯活動を実施した。	4
62	交通安全対策の充実	64	環境生活課	—	・警察署を主として、関係機関(交通安全協会など)と緊密な連携を図り、広報啓発及び高齢者交通安全教室を実施した。 ・市内循環バスを利用する際に運転経歴証明書を持っている方は、割引運賃を適用している。	4
63	避難行動要支援者の把握と対策	64	福祉課・ 総務課・ 高齢者支援課	—	・災害対策基本法の改正により「個別避難計画」の策定が自治体の努力義務となったことを踏まえ、令和5年2月に「匠瑳市地域防災計画」を修正し、当該計画の作成や管理等について明記した。 ・令和5年1月31日に避難行動要支援者名簿の更新を行った。 避難行動要支援者5,330人 名簿登録者492人	2
64	新型コロナウイルス感染症等への対応	64	健康管理課・ 高齢者支援課	—	・新型コロナウイルス感染症に係る「新しい生活様式」についてチラシやポスター、広報・市ホームページ等で周知啓発を図った。 ・感染症対策として、マスクや消毒液等を備蓄している。	3

6 匠瑛市版生涯活躍のまちの推進 (P64)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
1	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
65	匠瑛市版生涯活躍のまちの推進	64	企画課	<p>①事業地内のサービス付き高齢者向け住宅に移住した各年度末時点の移住者数 30人</p> <p>②事業地内の施設において、新たに雇用された各年度末時点の労働者数 48人</p> <p>③市及び事業主体に移住相談を行った事業地内のサービス付き高齢者向け住宅への移住相談者数 120人</p>	<p>【令和4年度末実績】</p> <p>①事業地内のサービス付き高齢者向け住宅に移住した各年度末時点の移住者数 17人</p> <p>②事業地内の施設において、新たに雇用された各年度末時点の労働者数 172人</p> <p>③市及び事業主体に移住相談を行った事業地内のサービス付き高齢者向け住宅への移住相談者数 206人</p> <p>④事業地内の地域交流拠点施設に設置する農産物直売所(ミニスーパーマーケット)における農業就業者1人当たりの年間収入額 -</p>	3

第4節 介護保険サービスの充実 (P65～P69)

(全体)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
19	4	21%	9	47%	2	11%	2	11%	2	11%

(内訳)

1 介護保険サービス提供基盤の充実 (P65, P66)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
7	1	14%	5	71%	0	0%	0	0%	1	14%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
66	広報の充実	65	高齢者支援課	—	・介護保険制度全般について分かりやすく解説した手引きを作成し、窓口にて配布した。当該手引きは、介護保険サービスの利用を検討している市民等への説明資料としても活用され、介護保険制度やサービス内容を周知する活動において重要な役割を果たした。その他、市ホームページにて、介護保険制度やサービス内容の周知を行った。	3
67	サービス提供事業者情報の公表	65	高齢者支援課	—	・「介護サービス情報公表システム」と「ちば福祉ナビ」へのリンクを市ホームページに掲載するほか、市が指定するグループホームの「介護サービス情報公表システム」への個別のリンクを掲載し、素早くアクセスできるよう努めた。	4
68	事業者に対する指導・助言	65	高齢者支援課	—	・介護サービスに関する苦情等を受けた際に、相談者や事業者への聞き取り等により適切な状況把握を行い、原因等の分析及び必要に応じて事業者に対して指導や助言等を行っている。 業務管理体制に関する監督について、市が所管する事業者のうち、一般検査等の対象となる事業者はなかった。	3
69	介護サービス提供中の事故への適切な対応の促進	65	高齢者支援課	—	・事故が発生した場合は、事業所から事故の概要や事故時の対応、再発防止に向けて今後の取り組み等について報告書の提出を求めている。 事故の原因や対策等を事業所において検討してもらい、報告書の内容について疑義等があれば市から事業所に確認を行うことで、今後の事故の再発防止を図った。	3
70	立入調査権の効果的な行使	66	高齢者支援課	—	・新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、令和4年度の集団指導及び実地(運営)指導は実施しなかった。 監査の対象となる事業所はなかった。	0
71	介護保険施設等の整備	66	高齢者支援課	—	・既存施設の活用により、必要なサービス提供に努めた。	3
72	介護保険法以外の高齢者施設の設置	66	都市整備課・高齢者支援課	新規設置予定数 0	・県と情報共有を行い、施設の適切な設置に努めた。 【設置数(現在)】 軽費老人ホーム 1 サービス付き高齢者向け住宅 3 養護老人ホーム 1	3

2 介護支援専門員へのサポートの充実 (P67)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
2	1	50%	1	50%	0	0%	0	0%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
73	介護支援専門員の資質向上	67	高齢者支援課	—	・主任ケアマネジャー連絡会を開催した。(2回) ・介護保険事業者連絡会の居宅部会と連携し、研修会を実施した。(6回)	4
74	介護支援専門員に対する相談・支援	67	高齢者支援課	—	・ケアマネジャーの相談支援件数 126件 ・1人体制となっている事業所の介護支援専門員を対象に「ひとり体制ケアマネジャー相談会」を開催した。(2回)	3

3 介護人材の育成・確保 (P67)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
3	0	0%	2	67%	0	0%	1	33%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
75	事業者間の情報交換や研修等開催の充実	67	高齢者支援課	—	・令和4年度実績なし	1
76	新たな人材の確保	67	高齢者支援課	—	・従来の介護職員初任者研修に加え、介護福祉士実務者研修を助成対象とした。また、市外在住の方も対象に加え、介護人材の定着・確保を図った。 R4年度初任者研修6件、実務者研修4件	3
77	介護サービス事業者の雇用支援	67	産業振興課	—	・匝瑳市雇用促進協議会と連携して合同就職説明会を開催し、介護職の雇用機会の確保に努めた。	3

4 低所得者への負担軽減 (P68)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
2	1	50%	0	0%	0	0%	1	50%	0	0%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
78	低所得者の保険料軽減	68	市民課・ 高齢者支援課	低所得者(第1～3段階被保険者)に対する保険料軽減を実施 当該軽減額について、国1/2・ 県1/4・市1/4の割合で負担	令和4年度低所得者保険料軽減負担金45,262,800円 (内訳) 【国】軽減対象者数(第1～3段階)3,780人 軽減額45,210,960円(A) 国庫負担所要額 22,605,480円(=A×1/2) 【県】軽減対象者数(第1～3段階)3,839人 軽減額45,418,320円(B) 県負担所要額11,354,580円(=B×1/4) 【市】軽減対象者数(第1～3段階)3,780人 軽減額45,210,960円(C) 市負担所要額 11,302,740円(=C×1/4)	4
79	社会福祉法人による介護保険サービス利用者負担額軽減事業	68	高齢者支援課	—	・令和4年度実績なし	1

5 介護給付等費用の適正化 (P68. P69)

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
5	1	20%	1	20%	2	40%	0	0%	1	20%

(各施策の取組状況)

取組 No.	①高齢者福祉施策	②ページ番号	③担当課	④計画値・指標等	⑤取組状況(現状・実績値等)	⑥進捗状況評価
						R4年度
80	要介護認定の適正化	68	高齢者支援課	①委託した調査票等の点検 100件/年 ②市職員(介護認定調査員)への指導・研修等の実施 ③認定審査会の判定結果分析・審査基準の平準化	・本市が指定居宅介護支援事業所等に委託した認定調査については、認定研修を受けた本市の職員が、認定調査票の全件点検を行った(48件)。 ・市職員(介護認定調査員)による調査件数1,962件について、主担当職員による調査票等の全件点検を実施した。 ・本市の職員が行う調査について、職員間で判断が統一されるよう指導・研修等を実施したが、定期的な開催には至らなかった。 ・匠瑛市介護認定審査会の合議体間における一次判定から二次判定への軽重度変更率の格差等の分析については、実施できなかった。	2
81	ケアプランの確認	68	高齢者支援課	ヒアリングシートによるケアプラン確認4回	・居宅介護支援事業所に対する介護給付費適正化ソフトのヒアリングシートを利用して、居宅介護支援事業所に対するケアプランの確認を行なった。 ヒアリングシート送付3回・ケアプラン確認115件 ケアプラン点検実施 1件	2
82	住宅改修等の点検	69	高齢者支援課	住宅改修の必要性確認のため現地確認、軽度者の福祉用具貸与確認 4件	・住宅改修の書類を精査し、状況がわかりにくいケースについては、地域包括支援センター職員と一緒に訪問して現状を把握した(3件)。 また、軽度者の福祉用具貸与に関しては書類の提出を求め、状況によってはケアマネージャーと面談し、状況の把握に努めた(例外給付書類確認7件)。	3
83	介護給付費通知	69	高齢者支援課	介護給付費通知2回	・利用者にサービス実績を通知し、実際に利用したサービスとの整合性を確認してもらい、業者により不正請求の防止及び過剰なサービスの抑制に努めた。 【サービス利用者に対し、年2回介護給付費通知書を送付】 (①令和3年7月～12月利用分。令和4年5月郵送 2,056通) (②令和4年1月～6月利用分。令和4年11月郵送 2,037通)	4
84	縦覧点検・医療情報との突合	69	高齢者支援課	縦覧点検・医療情報突合回数:12件	・国民健康保険団体連合会の審査情報を元にした重複請求の点検については、実施できなかった。	0

第1節～第4節(高齢者福祉施策の進捗状況)の総計

項目数	4	(割合)	3	(割合)	2	(割合)	1	(割合)	0	(割合)
84	19	23%	41	49%	15	18%	6	7%	3	4%